

5歳児クラス 8月 第1回 「昆虫とあそぼう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「皆は虫の仲間で何が好きかな？どんな虫を知ってるかな？」 「先生、森に行って虫をたくさん見つけてきたんだ」「名前がわからなくて、この本でいろいろ調べたの、皆も一緒に見てみよう」等で導入してシアターを始める。 	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①身近な昆虫に興味を持ち、特徴を知り居場所や生態に関心が持てるようにする。 ②絵本の実物の大きさも示しながら丁寧に映像を見せていく。 	保育士の役割	
		・会話をする ・子どもの一員になりお話を聞く	

がくしゅうタイム

活動①	ねる	巧緻性	指先を使い粘土で虫（生き物）を作ることが出来る		教材	
設問	粘土で虫（生き物）を立体的に作りましょう				★粘土 ★粘土板 仕様書（写真）	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「生き物博士からプレゼントが届きました。」粘土アートを提示。（事前に粘土アートを作っておく） 				保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「すごい！素敵だね。見せて」子ども達にも順番に見せる。 ・講：「先生も欲しいな」 ・保：「はいどうぞ。これで自分の虫（生き物）を作ってください」等で粘土を受取る。 ・講師が見本を見せてから、子ども達も制作する。 ・虫（生き物）のイメージを高め、細かな部分まで工夫する。 ※昆虫の制作が難しいようであれば、細長くしクネクネさせたり、丸めてできる、ヘビやカタツムリを皆で一緒に制作しても良い。 ・講師・保育士でフォローしながら制作する。 ・工夫している所を聞いたり、称賛をしながら制作を楽しむ。 				・粘土アート提示 ・粘土配布 ・子どものフォロー ・称賛	
活動②	ねる	表現	自分なりの言葉で表現することが出来る		教材	
設問	【作品発表】 「なぜこの虫（生き物）を選んだのか、工夫した部分はどこか」等を発表しましょう				粘土アート ★粘土板	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「皆の作品の発表会をしましょう」 				保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった作品は粘土板に上に置く。 ・1人ずつ前に出て「昆虫の名前や工夫した部分」等を発表する。 ・作品展のように全員で作品を見て回るのもよい。 ・クラスや時間に合わせて行う。 ・皆で称賛をして終了。 ・出来上がった作品は数日飾っておいてもよい。 <p>※作ることが出来なかつたり、途中だった子も、それぞれの良いところ、頑張ったところを称賛する。</p>				・子どものフォロー ・称賛	

数チャレ	ねい	数	10個の操作が出来る	教材
設問	おはじき10個の操作をしましよう。			おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 今月は「10」の数の操作です。 <p>予め皿におはじきを5個入れておき、別の皿（数個入っている）から5個取って加え、全部で10個になったか数える。</p>			<ul style="list-style-type: none"> 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 皿配布 子どものフォロー

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	クラスの状況に合わせて、子どもの興味を引き出しながら読むことが出来たか
活動①巧緻性	子ども達が自ら粘土制作をしたくなるような提示を行えたか
活動②表現	頑張って作ったものへの評価を子ども達が自信を持てるように出来たか
数チャレ	「5と5で10」と素早く理解出来るように視覚的効果を用いて指導出来たか

練習タイム♪

*** テーマ・観察 ***

虫さがし

- お散歩や公園に遊びに行った時に、どんな虫がいるか探してみましょう。
- 無理に捕まえようとしないで観察してみましょう。
- お家人とお話しして、大丈夫なら捕まえてお家で飼育してみるのもいいでしょう。



じっと息をひそめて観察してみましょう。

今月のえかきリズム

*** たこ ***



えかきリズム
の動画は
こちら



練習タイム
の動画は
こちら

